



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2018年1月号

知識ってやっぱり力なんだと実感しています

私の会社の経営理念は「成功のお手伝いをして共に学び成功体験を共有すること」です。経営を続けて年を経るごとに理念経営の重要性を感じ、2年前から経営理念の唱和を社員で実施していたのですが、今年からアルバイト講師も含めて朝礼で経営理念の唱和を実施することにしました。

そして、今月は講師一人一人と面談して、将来の目標設定をしています。私にとっては生徒や講師たちが目標達成することは何事にも代えがたい喜びです。そのため講師たちの夢や目標を共有していきたいという思いからはじめることになりました。

講師の中には「将来、ボルシェが似合う大人になってボルシェに乗りたい」という夢を語る講師もいて、心温まる思いで話を聞いている毎日がとても楽しく、将来、彼が本当にボルシェに乗って塾に遊びに来てくれたら、どんなに楽しいだろうかと考えただけでもワクワクしています。

そんな目標設定面談の中で、改めて知識って大切なあと痛感させられることがあったのでシェアしたいと思います。今回の目標設定面談は1感情・精神面 2健康状態 3人間関係 4金銭面 5ビジネス・仕事・キャリア 6時間 7環境 8活動・プライベートという8つの分野で、先ずは理想の状態というのを考えてもらっています。当然最初はあ

まり知識が無いのであまり書き出せないのですが、中には、4金銭面のところで「不労所得を得られるようにする」という理想を掲げる講師や、5ビジネスのところで「ニッチなところでシェア拡大」とか大人数負けのことを書いている講師もいたので、いろいろと質問すると、不労所得を得るために今から貯金をしっかりとして、株などに投資をすることで将来は働かなくてもしっかりと収入が得られるようになるよとか、就職する先をニッチな分野でシェアが高く、その分野ではどこにも負けないような技術のある会社にして、自分も特定分野では誰にも負けない知識を得たいのだと、そして、そのためには学校での工学主体の勉強だけだと不十分なので、マーケティングも勉強したいとか答えてくれました。

それを聞いて自分が大学生の頃はなんと幼かったことかと恥ずかしくなる思いでした。最近の若者たちの知識には驚かされるばかりです。ただ、昔の私と同じようにあまり将来のことを考えていない講師もいて、その差が何なのか考えた時に、やはり知識や情報の差が大きいなあと改めて感じた次第です。

今月はみんなで作った目標を講師全員で共有しようと考えています。新年会でみんなの夢や目標を共有することで、講師全員の目標についての知識が段階に向上するのではないかと楽しみにしています。

まさに知識は未来を切り開いていく力になるので、今、子どもたちが学んでいる勉強も将来はこのように夢や目標に繋がっていくのだと信じて、この活動を続けていきたいと考えています。

この活動を通じてあとひとつ感じていることは、やっぱり九大生の知識の広さです。勉強面での知識もさることながら、色々な分野で多くの情報を持っている人が多いなあと改めて感じています。決して九大が良いとか悪いとか、九大を目指した方がいいとかというわけではなく、九大生の知識の豊富さには改めて凄いよね〜と、いつもうちの講師たちとも話しています。

個人としても素晴らしい知識を持った九大生が、同じ学び舎で学んでいるわけですから、普段の会話も相乗効果でどんどん高度になってくのは当たり前のことです。ちょっと冗談にもなりますが、「九大生のギャグは高度すぎてわからん」と言っていた講師がいましたが、それもわからないではありません。

私は九大生のことしか知りませんが、東大生とかだったらどんなレベルなのかと思ってしまいます。世の中知識がすべてではありませんが、知識が問題解決の幅を広げることは確かなので、私は私なりに知識を増やせるよう精進していきたいと思います。

講師の「ニッチなところでシェア拡大」という目標に触発されて、YESを目標設定に関しての情報はどこにも負けないという塾にしていきたいなあと思いました。

やる気相談室

時間

最強の勉強法って知っていますか？

今年の初出勤の際に、教室に早く到着しすぎたのでコンビニに行ってみました。いつもならコーヒーを買って終わりなのですが、時間があつたので久々に書籍のコーナーに行ってみました。すると「図解、最強の勉強法」という本や

「今日から手帳は英語で書こうよー」「誰でもわかる地政学の本」という3冊が目につきました。今になって改めて見直すと本当に読めるのか？心配になっています(涙)まあお正月だから許すことにしましょう。(笑)ただ、最強の勉強法だけはパラパラと読み始めて気になった部分があったのでシェアしたいと思います。先ず、この本には6つの見出しがあるのですが、その最初に「目標設定の技術は身

についている？」ということが書いてありました。やはり目標なくして成功は得られないということ。ただ、このことに関しては今までも再三触れてきたので今日は書きませんが、その中に「目標が見つからない原因は、何を人生のゴールとするか、十分な時間をとって考えていないこと」と書かれていました。「目標がない」「目標が見つからない」という人は非常に多いですし、私もその一人でした。でも時間をとらないとそれが見つからないのも事実です。思わずハッとさせられました。

そして、次の見出しが「時間管理と集中力を高める技術は身につけている？」でした。時間に関しては、私の今年の目標である時間管理のスキルを向上させることにもつながっていて、改めて時間の使い方の大切さを認識させられた次第です。時間に関しては勉強だけでなく、仕事にしろ、スポーツにしろ、何かを向上させるためには時間の使い方を変えて習慣化させることが重要になります。そこで、時間の重要性を胆

に銘じることが先ず最優先の事項になるのですが、そこにとっても面白いことが書いてありました。「時間は複利の考え方で適切に管理する」というファイナンスの視点での考え方です。いまの100万円と10年後の100万円では今の100万円のほうが、利子が利子を生みだすので価値があることは大人だったらわかると思います。時間もそう考えましようということ。時間は金なりとは良く言ったものですね！

学習面でも英単語を覚えるなら早い方が圧倒的に効率が良くなることを、予備校のシステムを通じてこの1年間痛感しています。単語さえ覚えていれば学校の予習なんてとても短時間で終わってしまいますし、授業の理解度も比べ物にならないくらい上がるでしょう。幼児教育の重要性が説かれるのも同様の理由からです。高齢の私でも今からでもまだ遅くはないと時間管理に取り組みたいと思います。若い皆さんの時間は私の時間よりも相当価値の高い時間です。みなさん大事に使ってください。

英語の偏差値がたった3カ月で30アップ

書籍紹介

耳と口で10倍速く覚える 右脳式「家庭学習法」

松井和義著

なんと長い題名でしょう？(笑)この本は右脳教育の第一人者である松井氏の本です。今までもソマチック等健康に関連してYES通信でも紹介していた方なのですが、本来は右脳教育をずっと研究なさっておいの方なのです。この本に書いてあることは、まず日本の英語教育が左脳教育だからなかなか英語が上達しないことです。上達のためには英語脳を作る必要がありますが、そのためには毎日1時間の学習を3カ月間続ける必要があると書いてあります。海外滞在で英語を話せるようになった人の特徴は、ほとんどの人が滞在3カ月で英語が口から出てくるようになることです。海外滞在ですれくらいかかることを日本でどのようにして実現するのか？しかも1日たった1時間で・・・そのためにはまず英語を聞き取れるようにすることが大事なのです。しかし、英語の子音の発音は日本人の大人には周波数が高すぎてなかなか聞き取れません。赤ちゃんの耳は小さいのでそれが可能なのだそうです。小さい耳から聞き取った音声を開くと大人でも英語が聞き取れるようになり、聞き取れると話せるようになるというシステムです。しかも高速で右脳をフル活用する学習法なのです。私も海外旅行で英会話が出来るように挑戦してみようと考えています(^)/

